

しげひさ
重久

るり子さん

ひらの
平野

かずこ
和子さん

南之郷もりあげ隊の一員として、檮神社を中心に活動しているおふたり。どのように家庭と地域活動を両立されているのでしょうか。

南之郷もりあげ隊に加入したきっかけは

平野さん 南之郷出身ではありませんが、南之郷もりあげ隊の檮神社を復興したいという活動目的に惹かれ自ら声をかけ加入しました。

重久さん 道路で助けたカメラを、小戸池に逃がそうとしたときに加入しないか誘われました。元々、南之郷出身ということもあり加入しました。

活動内容について

二人 小戸池大掃除大作戦や絵手紙コンクール、かかしまつり、七夕、二年に一回の六月燈などのイベントをしています。10代から70代まで58名の隊員で活動しています。

活動を始めて感じたこと

二人 地元の人や檮神社に参拝にきた人との出会いがたくさんあります。活動を始める前は正月の檮神社の参拝客も数十名でしたが、ここ数年の活動により正月には約700名の参拝客が訪れたこともあります。正月の甘酒やぜんざいのふるまいを楽しみにしている人や、小戸池大掃除大作戦には鹿児島市から毎年参加してくれる親子や県外からの参加者もいます。イベント

を楽しみにしている人がいるので、活動にやりがいがあります。

家族や地域からの反応は

平野さん 市外にいる子ども達も、活発に活動しているようすを見て安心してきています。

重久さん 「楽しんで活動できてるからいいことだね」と夫が言ってくれます。

二人 自分の都合にあわせて活動ができるので、家庭との両立もできています。住まいは檮ではないですが、今では地元の人とも気軽にあいさつできる関係となりました。

男女共同参画について

二人 家庭でも社会でも男性にしかできないこと、女性にしかできないことがあるので、助け合い、協力が必要だと思います。南之郷もりあげ隊では、イベントを準備・運営するときに一人ひとりができることを分担して活動しています。困ったときもみんなでアイデアを出しあって解決しています。

今後について

二人 前進あるのみです。今まで実施してきたイベントを改善しながら継続し、皆さんに楽しんでもらいたいです。

【今回取材した

県男女共同参画地域推進員】

・島子正一郎 ・末永順子
・牧之瀬千保子 ・瀬戸口恵理

取材を通して、楽しく活動されているようすが分かりました。お互いを認め合い、協力しながら活動することは、地域でも家庭でも大事なことでと改めて感じました。



檮神社に咲く鹿児島県準絶滅危惧種のツリフネソウ
見ごろ 9月中旬～10月

